

名古屋市女性会館のあらし

平成27年度版

名古屋市教育委員会

目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	平成27年度事業計画	6
	1 平成27年度事業の基本指針	6
	2 事業目標と具体的な事業	6
	(1) 「学習の場」の提供	6
	(2) 「交流の場」の提供	7
	(3) 「情報提供の場」の提供	8
	(4) 施設等の提供	8

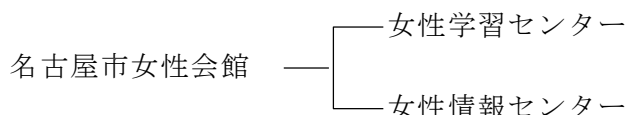
VII	平成26年度事業結果	9
1	主催事業のあらまし	9
	具体的な事業展開	10
1	「学習の場」提供事業	10
2	「交流の場」提供事業	12
3	「情報提供の場」提供事業	14
4	その他	16
VIII	平成26年度利用状況	17
1	開館日数	17
2	利用人数	17

I 目的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン=平等” と “ネットワーク=交流と連帯” の言葉を合わせたもの」男女平等参画推進センターを女性会館に移設することに伴う改修工事のため、平成25年10月14日から平成26年3月31日まで休館した。

女性会館と男女平等参画推進センターの共通愛称を公募により「イーブルなごや」とした。

「イーブル… “イーブン=平等” と “エイブル=可能” を組み合わせた言葉

II 建設の経緯

1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

昭和48年12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
49年 2月 1日	請願、市会で採択
49年 8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
49年12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
50年 1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
50年 1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
50年 4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
50年10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置
	第1回会合、基本構想について審議
50年12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
51年 2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
51年 4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1000万円）
51年 7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
51年 7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
51年 9月	現在地に構想固まる
	実施設計費を9月市会で補正
51年12月	本体工事実施設計を完了
52年 4月20日	工事着工
53年 7月19日	開館

2 女性情報センター

昭和60年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
60年12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
61年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
62年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
63年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
平成 元年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
元年 9月	実施設計完了
元年12月	建設着工
2年12月	建設完了
2年12月	情報システム設計完了、運用準備
3年 5月24日	開館

Ⅲ 施設のあらまし

1 名称・位置

- (1) 名称 名古屋市女性会館（共通愛称「イーブルなごや」）
 (2) 位置 名古屋市中区大井町7番25号

2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	立体駐車場
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	484.08㎡
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総 工 費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

3 施設の案内

	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3）・調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第4集会室・第6研修室・第7研修室 多目的室	ホール
2 階	第1研修室・第2研修室・第3研修室 第1和室・第2和室・視聴覚室・授乳室 生活科学研修室・小会議室	録音室・モニター室
1 階	文化活動室・ボランティアルーム・喫茶室 印刷コーナー・託児室・第4研修室 活動コーナー・図書資料室 第5研修室・図書閲覧コーナー	第1集会室・第2集会室・第3集会室 情報フロア・活動コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 (身障者用2台含む)	17台
	合 計	49台

4 開館時間と休館日

(1) 開館時間

午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで）

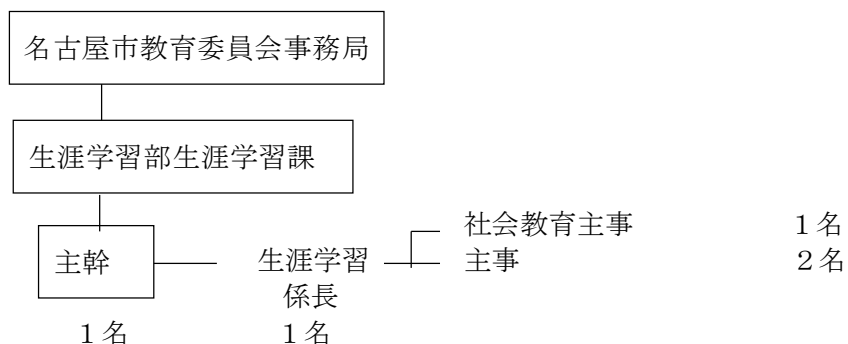
(2) 休館日

毎月第3木曜日、年末年始

5 部屋別一覧

	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)
3階	大会議室	42	97.40	ホール	350	350.00
	中会議室	24	49.80	ステージ	—	140.00
	大研修室	150	141.60	ロビー	—	61.75
	第6研修室	12	33.62			
	第7研修室	32	70.25			
	多目的室	30	76.48			
	第4集会室	63	94.40			
2階	視聴覚室	126	144.60	録音室	—	18.52
	第1研修室	54	70.80			
	第2研修室	54	70.80			
	第3研修室	12	29.88			
	生活科学研修室	54	87.00			
	第1和室	18	97.00			
	第2和室	15				
	小会議室	12	29.88			
1階	事務室・放送室	—	90.80	第1集会室	36	51.41
	第4研修室	15	32.00	第2集会室	22	37.99
	第5研修室	8	21.39	第3集会室	12	31.26
	文化活動室	50	117.00			
	託児室	—	86.96			
	ボランティアルーム	—	29.96			
	図書資料室	—	163.18			

IV 組織及び分掌事務



生涯学習係分掌事務（女性会館関係）

- (1) 女性会館の事業
- (2) 女性教育の事業
- (3) 女性会館の管理等に関する合理化

V 予算

（単位：千円）

事 項	平成27年度	平成26年度	増 減
女性会館運営費	58,552	61,487	△2,935
管 理 費	50,510	54,304	△3,794
学習機会提供事業	4,121	3,262	859
グループ活動援助	39	39	0
情報提供相談事業	3,770	3,770	0
女性カレッジ	112	112	0

VI 平成27年度事業計画

1 平成27年度事業の基本方針

名古屋市女性会館（以下、女性会館）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。

平成26年度より男女平等参画推進センター（以下、男女センター）との一体的運営が始まり、指定管理者制度が導入された。女性会館は、これまでの実績を踏まえつつ、指定管理者の民間活力を最大限に活用することにより、新たな視点やノウハウを取り入れ、さらなる女性教育の振興に努めていく。

女性会館、男女センター、指定管理者の三者が一体となって、多様化・高度化する学習ニーズに応え、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる「学習の場」、「交流の場」、「情報提供の場」として、事業を展開していく。

2 事業目標と具体的な事業

※ ……で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

(1) 「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

① 主催講座・講演会の開催

ア 講座の4本柱とその内容

女性の生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

現代的課題

人権、環境、国際理解等女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

イ 講座・講演会の開催

- ・ 系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。
- ・ 継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きの事業を実施する。

エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

オ 出前講座

将来を担う若者たちに、男女共同参画や社会的性別（ジェンダー）、デートDV等についての正しい知識や現状について学ぶ機会を提供するために、名古屋市内の高等学校を対象に出前講座を実施する。

② 託児事業

託児事業として、女性会館を利用する学習者、また団体・自主グループ活動に参加する学習者を支援する「学習支援託児」を行う。

(2) 「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル」の開催をはじめ、団体・自主グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主グループによる「自主グループ開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」の推進や、団体・自主グループによる学習の成果還元を支援する。

② グループの育成・支援

ア 講座や学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする自主グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継続・継承・発展を支援するための研修会を開催する。

(3) 「情報提供の場」の提供

女性のエンパワーメントや社会的性別（ジェンダー）、男女共同参画の意識啓発につながる情報を収集し提供する。

① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう学習相談を行う。

② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、社会的性別（ジェンダー）、男女共同参画の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸出しを行う。また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連したテーマでの図書・資料の企画展示や講座・講演会等でのガイダンスを行い、利用促進を図る。

③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 「広報なごや」「名古屋市インフォメーション（ラジオ）」等を活用した広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシ、新聞等を活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

(4) 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

Ⅶ 平成26年度事業結果

1 主催事業のあらまし

(1) 「学習の場」の提供事業

① 講座の開催

- ・ 主催講座（なごや女性カレッジを含む）16講座開催。平成26年度は、子育て中の女性を対象とした「『女性学』子育てママのわたし時間」や「差別のない明るい未来を～子どもたちを取り巻く人権問題から考える～」などを開催した。
- ・ 施設ボランティア育成事業として「託児ボランティア養成講座」「点訳ボランティア入門講座」を前期・後期に開催した。

② 公開講座・講演会等の開催

「感性を磨き 女性の力を職場に活かす～高島屋グループ初の女性店長として～」 「伝え続ける 被災者にとって必要な支援～東日本大震災 被災地での活動から～」など女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を9回開催した。

③ 「なごや女性カレッジ」の開催

南山大学大学院教育ファシリテーション専攻と共催で「自他尊重のI（アイ）メッセージ～アサーティブ・コミュニケーション～」をテーマに開催した。

④ 連携事業

- ・ 名古屋市男女平等参画推進室との共催で、男女の生き方をテーマに「新しい“なごやのカタチ”を発信！」として特別講演会を開催した。
- ・ 主催講座については、託児の会「たんぽぽ」、点訳グループ「六点会」などの女性学習グループや名古屋市博物館、名古屋市立大学、名古屋文理大学短期大学部、東海学園大学と連携して開催した。

⑤ 託児事業

- ・ 「講座・講演会託児」56回、「学習支援託児」24回等実施した。
- ・ 託児対象年齢を「1歳から小学校入学前」とした。（平成23年度までは1歳6か月から小学校入学前）

(2) 「交流の場」の提供事業

① 学習の成果を還元するための支援

主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した。

(3) 「情報の場」の提供事業

① 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出し。講座・講演会に関連した図書を展示、貸し出しする「図書・資料の企画展示」を開催した。

② 広報の充実

名古屋市公式サイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。また、「名古屋市だより（ラジオ）」、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

【具体的な事業展開】

1 「学習の場」提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期（5月～10月）・後期（11月～3月）の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数(回)	募集定員(人)	応募者数(人)	学習者数(人)	託児受入数(人)
前期 講座	午前	水	<J-1>私の“カラダ”をもっと知る ～毎日が輝くセルフケア～ (A)	4	30	26	19	2
		金 木	<J-2>女性と経済 ～今こそ女性のチカラを生かすとき～ (B)	4	40	33	25	3
		月	<J-3>『女性学』子育てママのわたし時間 (A)	5	30	25	19	16
		火	<J-4>[なごや女性カレッジ] 自他尊重のI (アイ) メッセージ～アサーティブ・コミュニケーション～(C)	5	25	33	29	8
		水 木	<J-5>こころのメール ～障がいのある女性とともに～ (A)	5	20	12	10	4
		金	<J-6>託児ボランティア養成講座1 (C)	4	20	22	18	3
		月	<J-7>点訳ボランティア入門講座1 (C)	4	20	22	13	1
		土	<T-2>自然から学ぶ子育て！にこにこ子育て講座 (D)	2	10	15	10	3
前期 計		8講座		33	195	188	143	40
後期 講座	午前	火	<J-8>イギリスにみる女性たち (A)	4	40	39	32	2
		金	<J-9>託児ボランティア養成講座2 (C)	4	20	19	19	5
		月	<J-10>点訳ボランティア入門講座2 (C)	4	20	8	7	0
		火	<J-11>ワタシらしく輝く『女性学』(A)	5	30	21	18	6
		金	<J-12>大衆文化の魅力 ～ジェンダーからみる世界～ (A)	4	40	15	13	0
		月	<J-13>差別のない明るい未来を～子どもたちを取り巻く人権問題から考える～ (B)	5	30	17	16	10
		水	<J-14>私と家族の健康は毎日の生活から(B)	4	30	36	31	14
		金	<J-15>女性とメディア (B)	3	30	26	23	3
後期 計		8講座		33	240	181	159	40
主催講座計		16講座		66	435	369	302	80
						受講率	68.6%	

(2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数 (人)	託児受入 数(人)
公開 講座	7月 24日	<E-5>「こころのメール」第 4回目 自分らしさを求めて ～性同一性障がいとともに～	名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科 医師 TTSファミリー代表 松尾 かずな	106	2
	1月 26日	<E-8>「差別のない明るい未来 を」第1回目 遠い国の問 題! ?子どもの権利と児童労働	認定NPO法人ACE (エー ス) 子ども支援事業担当 成田 由香子	42	7
「いま」 を 読み 解く	5月 24日	<E-1> 「いま」を読み解く <なごや環境大学共育講座> 未来へつなぐたからもの～持続 可能な社会をめざして～	名古屋大学大学院環境学研究科 特任准教授 杉山 範子	76	4
	8月 30日	<E-6> 「いま」を読み解く “理系ママ”脳研究の最先端を いく ～子育てと研究生活の両立～	名古屋大学大学院理学研究科 教授 上川内 あづさ	64	6
	10月 18日	<E-7> 「いま」を読み解く 感性を磨き女性の力を職場に 活かす～高島屋グループ初の 女性店長として～	ジェイアール東海高島屋 常務取締役 営業本部長 宇都宮 優子	47	0
	2月 7日	<E-9> 「いま」を読み解く 伝え続ける 被災者にとって必 要な支援～東日本大震災 被災 地での活動から～	日本赤十字豊田看護大学 教授 奥村 潤子	44	3
名古屋市 博物館 共催 特別展に みる女性 たち 2014	6月 18日	<E-2> 描かれた女性の幽霊たち	名古屋市博物館学芸員 瀬川 貴文	64	1
	3月 11日	<E-10>エピソードでたどる 書の散歩道 ～伝わる女性の息づかい～	名古屋市博物館学芸員 山本 祐子	87	0
特別 講演会	6月 28日	<E-4> 【名古屋市男女平等参 画推進室・女性会館主催】新し い“なごやのカタチ”を発信!	内閣府男女共同参画局長 佐村 知子 中京テレビアナウンサー 恩田 千佐子	235	5
		9回		765	28

(3) 託児事業

事業名	回数・月日	内 容	託児者・講師等	参加者数(人)
講座託児	51回	1歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	202
講演会託児	5回			19
なごや女性 カレッジ	5回			20
学習支援託児	24回			257
託児室交流会	5月16日 10月10日	講座託児説明会	託児の会 「たんぽぽ」	19
	7月3日 12月3日	語ろう会 (託児利用者と託児ボランティアとの交流会)	託児の会 「たんぽぽ」	19
			合 計	536

2 「交流の場」提供事業

(1) イーブルなごや・フェスティバル2014の開催

テーマ「イーブルなごやでつながろう！～明日をつくるために～」

事業名	月 日	内 容 等	参加者数(人)
実行委員会企画 映画上映「happy-しあ わせを探すあなたへ」、 エンディング	12月7日	幸福度の研究における世界的なリ ーダーであるエド・ディーナー博士 やリチャード・デビッドソン博士な ど心理学や脳医学の世界的権威た ちと共に、私たちがどのようにより 充実感を得て、なおかつ健康で幸せ な生活を手に入れることができる かを探求する映画の上映を行い、エ ンディングでは全館オープングル ープ活動デー参加グループの活動 紹介など、参加者全員で交流	172
全館オープングループ活動 デー	12月7日	全館を使って26グループが例会 を開放	987
1/2 B紙展示	11月4日～ 12月7日	B紙の大きさを1/2にして展示 36グループの活動紹介・作品展示	31,580
合 計			32,739

(2) 自主グループ主催講座の開設支援

講座名	団体名	曜日	時間	回数(回)	定員(人)	学習者数(人)
生きがい探し「演歌を楽しむ」	演歌を楽しむ会	月	午前	5	10	2
もったいないを家庭から～エコクラフト～	イーブルなごや3RL	木	午後	4	15	2
より美しく着こなすために～姿勢改善法～	女子の心と体	金	夜間	5	30	9
笑いヨガコーチング	ラフタークラブゆりりん	土	午後	5	10	2

(3) 研修会・交流会

事業名	回数・月日	内容	講師等	参加者(人)
託児ボランティア研修会	5回	託児活動の確認 講演会「わたしらしく生きるための法律制度」等	江本法律事務所弁護士 江本 真理 ほか	115
要約筆記ボランティア研修会	1月28日	求められる要約筆記～活動を通して考えるこれからの支援～	NPO法人名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 大橋 千鶴子	3
点訳ボランティア研修会	3月2日	中途視覚障害の人にとっての点字～その習得と活用～	元名古屋市総合リハビリテーションセンター職員 坂本 隆司	20
子育てグループ交流会（子育てグループ交流会共催）	9月9日 3月3日	親子であそぼう♪ 仲間と一緒に親子で体操！	子育てグループ交流会 保育士 上田 真理子	45 20
合 計				203

3 「情報提供の場」提供事業

(1) 学習相談事業

(単位：件)

学習 機会	施設	団体・ グループ	指導者	資格	教材 (資料)	学習 プログラム	その他	合計
5	1	1	0	9	78	0	9	103

(2) 図書資料室の運営

ア 利用者数等

事 項	平成26年度	平成25年度
貸出利用者数	924人	925人
貸出利用冊数	2,075冊	1,474冊
予約・リクエスト件数	7件	18件
新規登録者数	208人	63人

イ 蔵書数

区 分	平成26年度末	平成25年度末
図書・資料 計	28,085	27,417
図書 ※1	19,453	19,003
雑誌 ※2	4,822	4,716
資料 ※3	3,538	3,440
VTR、DVD、CD-ROM	272	258

※1 参考図書、児童図書含む

※2 「女性展望」「We learn」「女たちの21世紀」「婦人公論」など

※3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など。

ウ 図書・資料の企画展示実施結果

回数	開催期間	テーマ	展示した図書の内容
1	10月2日～ 10月31日	女性の力を職場に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用する側から女性の力をどう活かすか ・キャリアアップ ・女性が仕事で認められる方法 ・女性が働きつづけるには
2	11月1日～ 11月30日	男女平等参画をすすめるために	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等参画とは ・ジェンダーの視点から
3	12月1日～ 12月28日	子どもの権利	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利 ・児童労働 ・子どもの虐待
4	1月4日～ 1月31日	仕事も子育ても大切にするワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランス ・働き方 ・子育てをしながら働くこと
5	2月1日～ 2月19日	災害・防災と女性	<ul style="list-style-type: none"> ・災害と男女平等参画 ・災害への備え
6	2月20日～ 3月31日	ドメスティックバイオレンス（DV）ってどんなこと？	<ul style="list-style-type: none"> ・モラハラとは ・デートDVとは ・被害者の再生

4 その他

(1) ホール機器研修会

開催日	参加者 (人)
平成26年 4月	7
平成26年 5月	4
平成26年 6月	4
平成26年 7月	13
平成26年 8月	2
平成26年 9月	6
平成26年 10月	7
平成26年 11月	3
平成26年 12月	0
平成27年 1月	0
平成27年 2月	4
平成27年 3月	11
合計	61

Ⅷ 平成26年度利用状況

1 開館日数 347日

2 利用人数 294,902人 (平成25年度 131,589人)

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

228,965人 (平成25年度 121,566人)

区 分	女 性	男 性	計
貸 室 (男女平等)	26,476人	8,786人	35,262人
貸 室 (女性教育)	77,976人	14,840人	92,816人
貸 室 (その他)	59,574人	36,313人	95,887人
主催講座	4,152人	848人	5,000人
計	168,178人	60,787人	228,965人

(2) その他の利用人数

65,937人 (平成25年度 10,023人)

室 名	女 性	男 性	計
託 児 室	3,063人	1,121人	4,184人
ボランティアルーム	1,007人	14人	1,021人
録音室・モニター室	61人	1人	62人
その他 (※)	—	—	60,670人
計	4,131人	1,136人	65,937人

(※) 図書資料室、活動コーナー、情報フロアなどの利用者を計上

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	624 件	64.0 %	13,059 人
中会議室	691	70.9	8,050
小会議室	671	68.8	4,845
大研修室	681	69.8	21,229
第1研修室	646	66.3	13,975
第2研修室	582	59.7	11,592
第3研修室	653	67.0	4,116
第4研修室	658	67.5	5,396
第5研修室	672	68.9	3,210
第6研修室	643	65.9	4,038
第7研修室	695	71.3	8,416
第1和室	446	45.7	3,110
第2和室	345	35.4	2,086
生活科学研修室	432	44.3	5,850
視聴覚室	572	58.7	23,705
文化活動室	728	74.7	12,438
第1集会室	653	67.0	9,035
第2集会室	658	67.5	6,746
第3集会室	626	64.2	4,217
第4集会室	663	68.0	12,955
多目的室	714	73.2	7,998
ホール	315	32.3	42,899
合計	13,368	62.3	228,965
平成25年度合計	6,865	75.2	121,566